

自己実現2023

兵庫県立神戸高等学校 進路指導部

【いよいよ夏季休業】

今日で1学期期末考査が終了しました。4月からの3ヶ月でみなさんは「基礎基本の定着」に努め、実力を蓄えてきたはずです。この夏季休業中は、それが本物かどうか確かめる絶好の機会です。暗記事項を完全に脳に定着させるために時間を掛けて反復して記憶し、問題演習に取り組んでください。ただし、この時期にいきなり大学の二次試験の過去問などに手をつけるのは効果が薄いです。「基礎基本が定着」したと自分で胸を張って言えるようになってはじめて、過去の入試問題に挑むのです。みなさんはまだまだ発展途上です。知識が不十分なままで難しい問題にチャレンジしても、いたずらに時間を失うばかりで実りが少ないです。誰も解けない難しい入試問題が解けることより、誰も解ける問題を確実に得点できることが合格へつながります。また苦手科目克服の絶好のチャンスでもあります。この夏休みを「実りある」ものにするためにも、三者面談でじっくり今後の方向性を確認し、「羅針盤」等で各教科からのアドバイスを確認し、夏季補習等に積極的に取り組んで、「第一志望への強い信念とそれに見あうだけの学力」を身につけましょう。

なお、1学期の節目にあたり各クラスで教室の環境整備を十分に行ってください。教室は三者面談や夏季補習に使用されるので、終業式迄に教室内の私物を持ち帰りましょう。

【第2回実力考査教科・科目別講評】6/13,14の実力考査の講評をよく読んで！

<国語>

平均点は模範解答、解説に記載の通り。現代文の得点率に大きな差はなく、点差が開いたのは、古典分野である。基礎を定着させるためには、繰り返し学習することが大切である。引き続き取り組んでほしい。また、時間配分を考えて、試験に臨むこと。現代文には、みっちり時間をかけたが、古文・漢文には手が届いていない答案が見受けられた。

現代文・評論では、「逆説的」「記号性」「消費」等々の評論頻出用語をこの機会に理解してもらいたい。そのうえで、今後他の文章中で出合ったときにも、その文脈の中でどのように使用されているかを考え、本文読解に役立てよう。

現代文・小説は、よくできていた。選択肢を選び間違えたものは、なにが原因だったのかを、解説を読んで理解しておこう。

古文は、『紫式部日記』からの出題で、教科書では取り扱わなかったが、有名な作品なので、どんな内容か『新国語便覧』等で確認しておきたい。本文は、作者の紫式部が、里下がりして、これまでの宮仕えの苦しさ、将来への不安等を述懐する場面である。記述問題をきちんと解答できている生徒は、日頃から基本的な古語の読み方や意味、敬語・文法などの知識が定着していると見てよいであろう。一方ほとんど解答できていなかった生徒は、これまでの取り組みを反省してもらいたい。

漢文は、『戦国策』からの出題で、これも定番の教材であるから、便覧等で文学史的なものを学習しておいて欲しい。中国の春秋・戦国時代は、漢文では非常に大切な時代であるから、この時代に関するおおまかな知識は必要である。最近はインターネットのサイトなども充実したものがあるので、参考に見よう。また、いつも述べていることであるが、句法・語法の基礎知識がまだまだ定着していない。入試まではそんなに長くない。焦って取り乱す必要はないが、心を新たに真摯に取り組んでもらいたい。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現2023』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

<数 学>

文系 120 分、理系 150 分の試験で、全問題が記述式での出題でした。国公立大学入試において、マーク形式の「共通テスト」で得点することはもちろん大切ですが、最も得点の差がつくのは「**数学の記述問題**」とも言われています。数学の記述で得点できる力をつけることはとても重要です。

解答を書く際、数学の解答を記述する経験が乏しい高校生諸君は、まず教科書や 4step、チャートの例題の模範解答の真似をして書くように心がけるとよいです。今後、数学の学習をする際には、内容理解だけにとどまらず、解答の記述方法にも気をつけるようにして欲しい。記述式の解答欄に数式だけしか書いていない人が少なからずいるが、記述式では、「日本語による簡潔でわかりやすい説明」と「数式」をセットにして書くとよいです。

■第 2 回実力考査の 2 の解答例を以下に示す。

【2 点 $P(\alpha, \alpha^2)$, $Q(\beta, \beta^2)$ と直線 $l: y = 2x + m$ に関する問題】

<解答例>

線分 PQ は直線 l と垂直に交わるので

$$2 \cdot \frac{\beta^2 - \alpha^2}{\beta - \alpha} = -1$$

したがって

$$\alpha + \beta = -\frac{1}{2} \quad \dots \text{①}$$

また、線分 PQ の中点を M とおくと

$$M\left(\frac{\alpha + \beta}{2}, \frac{\alpha^2 + \beta^2}{2}\right)$$

点 M は l 上に存在するので

$$\frac{\alpha^2 + \beta^2}{2} = 2 \cdot \frac{\alpha + \beta}{2} + m \quad \dots \text{②}$$

①, ②より

$$\alpha\beta = \frac{5}{8} - m \quad \text{[解]}$$

この例のように、「日本語による説明」+「数式」のセットひとつのテンプレートにする
と解答が書きやすくなる。また、日本語の説明は左詰めで書き、数式は 1,2 文字分スペース
を空けて書くと読みやすいレイアウトになる。①②などの式番号を適切に設定すること
や、「したがって」「また」などの接続詞を使うことも大切です。

2 学期以降の数学の授業は理系も文系もすべて演習の授業になります。記述力向上への
一番の近道は授業で行う演習問題を大切にすることです。授業を最大限に活用して記述力
を向上させて欲しいです。2 学期の授業で効果的な演習を行うためにも、まずは各分野の
基礎・基本を夏休み中に定着させておくことです。

全体を通して気になったのは、計算ミスです。全体の得点に大きく影響します。また、
基本的な式の扱いや変形でのミスも見られます。限られた時間の中で、早く正確に解答し

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現 2023』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校 HP でも閲覧できます。

月7日(木)

ていく力をつけていきましょう。新しい内容を学習していくのではなく、問題にどう対処していくのかその解法を考える必要があります。様々な解法を身につけていきましょう。

<英語>

今回から、名前のおとり「実力」考査となり、これまでの課題実力考査以上に時間が足りなかった生徒が多かったようだ。言うまでもなく、テストと名がつくものは全て解答時間に制限がある。4月の講評でも指摘したように、試験での時間配分は大切である。長文問題に時間をとられすぎた結果、時間に追われていなければ正解できるはずの、文法・語法に関する設問で、うかつにミスをしてしまっている答案もかなり見られた。長文を早く正確に読み取る力は、共通テスト、個別試験ともに絶対に必要になる。長文問題は3題で、前回より1題減っているが、文章の量が増え、難易度も上がっている。4月の実力長文問題(長文全4題中の1題)の正答率は27.4%。今回の長文の正答率は、大問1が43.4%、大問2が26.8%、大問3が19.6%で、3題の平均正答率は29.9%であった。今回は、大問1が「人文科学」、大問2が「自然科学」、大問3が「小説」の分野からの出題であったが、可能な限り様々な分野の英文に慣れ親しんでおく必要がある。語彙力・文法力のブラッシュアップも長文読解に不可欠であるが、解答後に、本文に出てきた語彙・文法を確認し、文脈から読み取れなかった語の意味や、理解が不十分だった文法項目を、辞書や参考書でしっかりと復習し補強していく姿勢が求められる。文法問題の正答率は36.3%であった。解答時間に余裕がなかったためできなかったのか、それとも実力不足だったのかを振り返り、対策を立てる必要がある。和訳の正答率は30.2%、英訳は15.6%であった。和訳は、英語のロジックと読解力を日本語でどう表現するかが問われる。語彙・文法に加えて英文の構造を見抜く力が必要なのは和訳でも同じである。問題集等でも、和訳を求められている箇所は、自分で最後まで訳を書ききることと、読み返してみ、日本語としてきちんと文章の体をなすような答案を書くことを心掛けることが肝心である。英訳では、自分の表現できる箇所の英語だけは書いているが文章になっていない答案や、全く書けていないものも多かった。まず、与えられた日本語の文章の構造を見極めること、日本語独特の言い回しを自分の知っている英語でどううまく表現するか工夫すること、が大切である。難しい日本文に遭遇したとき、思うままに継ぎ足して理解しづらい英文を作るより、言い足りていないところはあっても趣旨を理解した英文を作る方が点数は稼げる。英訳で満点を取るのには難しいが、ふだんから、この一連の作業を「楽しんでやろう」ぐらいの気持ちを持って取り組んでほしい。

<物理> **物理講評** 【理系、総理】

①は力学分野の出題で、摩擦のある水平面上にばねを取り付けた物体の運動について、力学的エネルギーと仕事の関係および単振動の関係を理解して物理量(力、速さ、時間、振動中心等)を求める問題である。②は熱力学分野の出題で、シリンダー内のピストンについて、力のつり合い式や気体の状態方程式を立て、ピストンの運動の状態変化で熱力学第一法則から物理量(圧力、温度、内部エネルギー、仕事)を求める問題である。③は波動分野の出題で、正弦波の式を理解して、単振動する平面波が反射する場合での波の変位や到達時間を求め、進行波と反射波での合成する定常波の式や節のできる条件を求める問題である。②は全体の得点率が約3割台と最も低い、①も約4割台と低調、③は5割台とやや低調であった。①の力学分野については、力学的エネルギーと仕事の関係式がまだよく理解できていないと思われるので、力学の関係式や単振動から物理量やグラフが作

<保護者の方々にも読んでいただきましょう>

<ご意見・ご質問をお寄せください>

『自己実現2023』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

成できるようにしたい。②の熱力学分野については、熱エネルギー、内部エネルギーや仕事に関係がまだよく理解されていないと考えられるので、それぞれの式の意味を理解して気体の法則や熱力学第一法則から解けるようにしたい。③の波動分野については、正弦波の式の意味をしっかりと把握して、波の変位・到達時間、合成波の式、節の位置などが求められることができるようにしたい。力学・熱力学・波動の各分野で理解が不十分でないので、類似問題を解いて要点を押さえる必要がある。問題演習にしっかりと取り組んで、着実に求めことができるようにしておきたい。

	得点率 %			平均点
	①	②	③	
全体	39.1%	31.8%	49.6%	38.4点
普通科	36.7%	29.8%	46.5%	35.7点
総合理学科	50.1%	41.1%	64.4%	51.7点

物理基礎(総合物理)講評 【文系】平均点 21 点 (50 点満点)

①(力学)得点率 4.2% ②(熱力学)得点率 81.3% ③(波)得点率 43.8% ④(電気)得点率 21.4%

前回4月の課題実力に比べ、解けるようになってきている。特に、熱力学の分野は授業で復習が済んだ分野で、得点率の高さからもしっかり身につけている様子がうかがえる。反対に、1の力学分野は得点率が4.2%で、授業で復習が済んでいる分野にも関わらず全く解けていなかった。力学分野は他分野に比べ解きやすい問題が多く、皆得意とするところである。しかし、問題文をしっかりと読んでいない、勘違いをするなど、ケアレスミスにより点数を落としている生徒が今回も多く見られた。得意分野であるからこそ、注意深く、ミスをしないように解いていってほしい。

<化学> 化学講評 【理系、総理】

今回の実力考査は、現時点の二次学力を測るための問題として出題しました。基本～標準的なレベル(入試レベルから見れば)の設問がほとんどですが、大問2~4はある程度まとまりのある文章を読んで条件や題意を掴んで、さまざまな分野が融合された問題を解く必要があるという意味で二次試験的です。日頃の学習の取り組みの成果が表れ始めているのか、5割近く取れている生徒も増えていきます(二次形式なので6割が目標点)。出遅れている人は早めに追い付いていきましょう。基本問題集(グローバル)とともにマーク式問題集(チェック&演習化学)は既習範囲まで一通り解き終わっていますか(自分で計画的に進めて下さい)。一学期で無機・有機の分野も終了しますが、覚える努力をしていますか? 次の8月マークでは75点を目標にしてしっかりと演習を進めてください。また、時間不足になった人は普段から意識して問題を解く(計算も含めて)スピードをアップさせましょう。

化学基礎(総合化学)講評 【文系】

■平均点 1組 27.1 2組 28.2 3組 25.9 全体 27.1

クラス間で大きく平均点の差はみられなかった。授業でやっていた範囲(物質の構成、物質の構成粒子、物質と化学反応式)の正答率は予想より高かったが、まだしていなかった範囲(酸と塩基、酸化還元)の正答率は低く感じた。夏休みを前に教科書の範囲は一

<保護者の方々にも読んでいただきましょう> <ご意見・ご質問をお寄せください>
『自己実現2023』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

月7日(木)

通り終えたので、前から言っていたように夏休みが終わるまでには化学基礎の勉強は完了させておくように。学習する際に理解できている部分、できていない部分を明確にするよう心掛けてほしい。2学期からはひたすら演習をするので、問題に取り組む際に、なぜ間違えたのか自分で考察できるように夏休みの間で学習を一通り終えるよう頑張してほしい。

〈生物〉 **生物講評** 【理系、総理】

■受験者 37人 平均 28.7点 (最高点 61点, 最低点 9点)

2次試験を意識して問題を作成した。第1問は北大と京都、第2問は浜松医大と神戸、第3問は慶應の問題を参考にした。第1問では大学レベルの内容を問題文から考える力、第2問は主に生物分野の教科書レベルの知識と計算力、第3問は遺伝子解析方法とコロナのPCR検査の仕組みを考える問題とした。

50点以上が4名、30点以下が23名と現時点では半数以上おり、生物に学習時間をかけている生徒は少ない。多くの生徒の志望する難関大学や医学部に現役合格する力はまだついでいない。特に第1問で出題した未知の内容を問題文から読み取る力は大学入学後も必要になるので残り時間でいかに養成するかが大きな課題である。また、第2問でも多くの生徒が点数をとれていないので最低限の学習ができていない生徒が多すぎる状態である。大学入試で合格するためには英数国の力だけでは不可能である。期末から夏休みにかけ、バランスを考えて理科の学習時間を確保し基礎学力を充実させることが合格につながる。

コロナ以降 SARS-CoV-2 の抗原検査や抗体検査、PCR検査、COVID-19 の疫学調査ウイルスの性質やウイルスゲノムの複製などの出題が増している。そして気になるのが組換えの計算問題の増加である。この傾向は75回生の入試においても変わらないと思われる。さらに、今年度はサル痘に関する出題も予想される。範囲は広くなり、内容も深くなっているので学習内容の精選と自学自習の習慣をつける必要がある。

生物基礎(総合生物)講評 【文系】

■受験者 93人 平均 24.4点(最高点 37点, 最低点 9点)

第1回と比較すると最高点、平均点、最低点すべてが上昇した。1年間のブランクを少しずつ取り戻しているところである。授業では語句の確認と実験問題の考察と中心に展開しており今回の第1問では実験問題で対照実験の設定を選択する問題を出題した。全問正解が3名、半数以上が6割近く解いており、少しずつではあるが確実に力がついてきているようである。大問2では右心室と左心室の血液排出量が等しいことを理解できているものが8名おり、さらに未知の問題に対しても考察できている生徒が増えている。しかし、第2問、第3問の基礎用語を記述で出題したところ、全問正解者は予定より少なかった。共通テストはマークであっても正確に用語を記述できる力をつける必要がある。

全体を通して欲をいえば40点を超える生徒が各クラス数名ずつ出てくるとさらにレベルアップするのでぜひ高得点をとれる生徒を増やしていきたい。

〈世界史〉

1 出題内容

・大問1・2・4・5・6・8・9

…共通テスト形式、資料読解を伴う実力問題(共通テスト難問～国公立二次レベル)

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2023』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

- ・大問3・7・10・11 …文系私立大、国公立二次形式(3は京都大学の問題を基にした)
- ・大問12 …論述形式(予備校の分析なら必ず「易」がつく基本問題)

2 分析

- ・単問記述式の問題(小論述は除く)24問中、山川用語集の⑤以下の語句を問う問題はたった3問。24問中、正答率50%を超えたのは「三・一独立運動」のみ。努力せよ。
- ・マーク式は正答率50%を超える問題が記述式に比べて多かった。しかし、たまたま当たった問題があれば必ず復習しておいてほしい。
- ・並び替え問題は相変わらず弱い。考え方を伝えねばならないと感じている。
- ・(1回目の講評と同じ!)論述は解答形式としては難しいが、問われている内容は基本的。分かっていないから書けていないだけ。まず何か書け(諦めるな)。次に事実を書け(事実捏造が多すぎ。チャールズ2世の時に名誉革命!?平和共存がレーニン、スターリン!?)。次に古い順に書け(流れが大切)。表現方法はこれらができてから。

3 指導方針・学習の心構え

「×難しい問題を答えて差を広げる」→「○易しい問題を答えて差をつけられない」
夏はinputもoutputもやってみる。スピーディーにする復習と、じっくり理解を深める学習を毎日やる。

<日本史>

1 出題内容

大問は【1】幕末明治の政治外交史、【2】幕末明治の政治経済文化史
【3】明治期の思想史、【4】戦時～戦後政治史、【5】古代国家成立史

2 分析

今回もやや難易度の高い問題がならんだため解答が難しかったと思われる。特に正答率が低かったものは王政復古から明治初期の政体・軍事制度・貨幣制度である。細かい部分で制度が短期間にしかも頻繁に変わる時期なので整理が追いついていない様子が見受けられる。要復習である。また条約改正交渉史に関係する問題も軒並み正答率が低かった。今回の実考で外交史は一番復習してほしいテーマである。どの時期に誰がどのような内容で改正交渉を行ったかは早々にチェックしてほしい。また戦後史も占領期に比べて高度経済成長期以降(1970年代)の内容があまり理解できていない様子が見受けられる。占領期から高度経済成長期ほどは細かく扱われず、教科書での比重も軽いが意外と出題される分野である。手を抜かずに、高度成長期以降の内閣の政策・外交・経済を中心に簡単に整理する必要がある。古代史の出題は少なかったが、どの天皇のときにどのような政策が行われたのかが結びつけられていない節が見受けられる。これもしっかり見直すこと。

<地理>

自然地理の分野の基本的な事項が身につけていません。世界のどこに山があるのか、どこに川があるのかが白地図に描けていません。ケッペンの気候区の理解が不足しています。これら2年1学期の時の知識が自分のものとなっていません。そのため簡単な問題ですら正答率が低いです。これらのことは早く身につけて、社会事象にも応用を利かせるようになってください。夏休みには時間を割いて確認しましょう。

<保護者の方々にも読んでいただきましょう> <ご意見・ご質問をお寄せください>
『自己実現2023』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。

9月には教科書が終わります。演習を繰り返して、細かい知識の習得が出来ても、このような基本的事項が身につけていないと高得点は望めません。頑張ってください。

■まとめ

『成績のいい人はテストの見直しをしている……』

テストは結果ばかりをみるのではなく、間違った問題を必ず見直しをすること。間違い直しは最も効率のいい学習法です。見直しをしないのはとても損をしていることに気がつかない人は次のテストでは残念な結果に終わるかもよ…。わからないところは先生に質問してください。

【大学入学共通テストへの準備について】

大学入学共通テストは、現役生は個人ではなく在籍高等学校経由で一括出願することになっています。出願方法や注意事項等の詳しい説明は、**9月2日(金)の14:15~15:00に学年集会**で行う予定です。また、出願書類(大学入学共通テストでは「**受験案内**」と呼んでいます。)は、最寄りの大学(神戸高校は神戸大学)より**75回生**全員分を取り寄せます。夏季休業中に申請や手続きが始まるものについて確認しておきます。

【英語リスニング「イヤホン不適合措置申請」について】

英語リスニングで使用するイヤホンが耳の形に合わず装着できないために、試験当日ヘッドホンの貸与を希望する場合は、「イヤホン不適合措置申請書」を下記の方法で入手し、最寄りの大学入試センター試験参加大学の入試担当窓口で確認の署名をしてもらった後、志願票の所定の欄に貼り付けて出願しなければなりません。イヤホンが自分の耳に合うかどうか不安を感じている人は、**進路指導部(松井先生)**のところまで来てください。昨年の現物がありますので試しに装着できます。

【申請書の入手方法】

①「大学入試センター」のH.P.からダウンロードする。②進路指導部先生(職員室)の所へ行く。

【夏季休業中の教室等の使用について】

大半の75回生は、部活動ではなく三者面談、夏季補習、自習で登校することになります。他への配慮の気持ちを忘れず、エネルギー節約にも気を配り、お互いに気持ちよく学習活動が行える環境作りに協力しましょう。下記の注意事項を熟読してください。

- (1) 自習教室:指定された場所(教室掲示)でのみ行う。面談などで使用されることもあるので、注意する。
- (2) 進路指導室自習可能時間帯:原則平日の8:20~17:00(下校時刻厳守)
- (3) 校舎への出入り:平日は生徒昇降口
- (4) 各自でゴミの処理など教室の環境整備や、戸締まり・消灯に心掛ける。
- (5) 貴重品の管理は、各自が厳重に行う。
- (6) 夏季休業中の様々な連絡は、**職員室前日番連絡黒板**にて行います。

■7/14(木)LHR(5限)学年集会にて、「夏休みに向けて…」と題して各部署からお話があります。参考にして悔いのない夏休みを…

【後記】いよいよ人生で一番勉強する夏休みが始まります。大人になっても今年の夏休みのことはずっと忘れられないことでしょう。全力で、記憶に残る濃密な夏休みにしてください。自分が今まで受けてきた定期考査・実力考査・模擬試験で弱点を知り不得意分野を

月7日(木)

じっくり攻略できる時期です。難しいことを手掛けてあせるのではなく“鬼の反復”で圧倒的な基礎力を確立しましょう。ただ無理をして体調をこわすと、逆に時間をロスしてしまうので、限界に注意しながら自分のできうる限りの範囲で頑張りましょう！成果は秋以降に出てくるので焦らずじっくりと取り組みましょう。

[6月進研マーク模試の答案返却とその結果について]

■総合学力進研マーク模試 6/3・4+6/11 実施分)

6月に実施した全統マーク模試の結果が判明しました。みなさんの実力は昨年11月の模試の時は落ち込んでいて大変心配をしていましたがV字回復して例年と比較しても、決して見劣りするものではありません。着実に力をつけてきているのですから、これからも焦ることなくじっくりと授業中心の学習を心がけましょう。模試の成績は所詮途中経過に過ぎません。6月の成績分布がそのまま本番まで推移するはずがなく、夏の成果はこれから現れてきます。数字や順位に一喜一憂することなく、間違った問題やできなかった分野に目を向けて復習するというひたむきな努力を積み重ねていくことが大切です。

※今回は初めての自己採点だったこともあり、返ってきた答案の点数と自己採点の得点が違うケースが多く見受けられました。例年本校の自己採点の合計の誤差は±1点です。

得点分布表はHPには掲載していません

※75回生・74回生の英語に関しては(英語筆記100点リスニング100点)で換算しています。

【進路指導部からの告知：「中四国医学部チャレンジ」(高松予備校主催模試)の申し込みについて]

■実施日：補習期間中の ・7/28(木)13:20~14:50 (90) 英語

・7/29(金)13:20~14:20 (120) 数学；14:30~16:30(120) 理科

※希望者は、7/14(木)までに進路指導部(松下)まで申し込み用紙を取りにくること。受験料¥2,700

〈保護者の方々にも読んでいただきましょう〉

〈ご意見・ご質問をお寄せください〉

『自己実現2023』など進路指導部が発信する情報の一部を神戸高校HPでも閲覧できます。